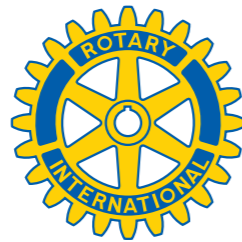


2012-2013 ガバナー月信

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

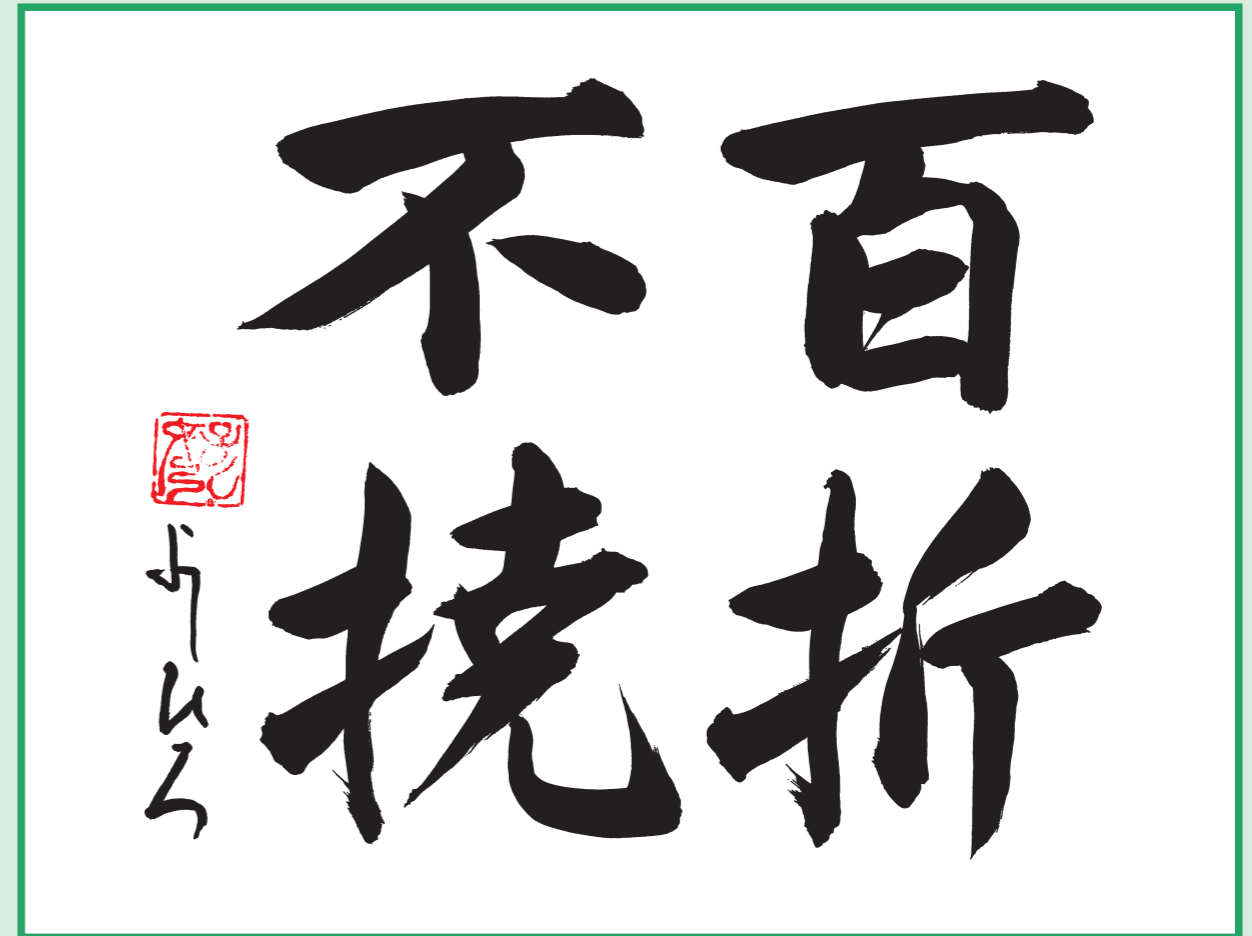
5



奉仕を通じて平和を

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2012-2013 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510



国際ロータリー第2510地区

2012-2013年度ガバナー 細川好弘

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512

e-mail : rid2510@nifty.com http://rid2510.org

2012-13年度 国際ロータリーのテーマ

奉仕を通じて平和を Peace Through Service



国際ロータリー第2510地区2012-2013年度 地区目標

- I ロータリーを新世代と共に未来につなげよう。
- II 地域や世界に役立つ奉仕をしよう。
- III 今一度、親睦と友情を拡大しよう。

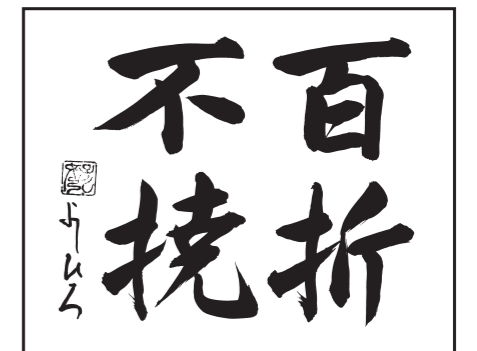
CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
地区協議会報告	2
第9グループIM終了報告	3
第7グループIM報告「今、ロータリーに求める価値観とは何か」を学ぶ	4
第4・第5グループ合同IMを終えて	5
東日本大震災復興補助金プロジェクト事業報告(その1)	6
特別支援学校支援プロジェクト事業報告	10
いわき海星高校支援事業～その後	11
米山寄付/ロータリー財団寄付/新会員のご紹介/文庫通信	12
クラブFAX番号の変更について/地区カレンダー	13
出席率・会員数	14

5月のことば百折

何回挫折してもくじけないこと。あきらめないで志を曲げないこと。七転び八起き。ロータリーの始祖ポール・ハリスにも百折不撓の精神が秘められていたのでしょうか。ロータリーの誕生と成長が物語っています。

ガバナー 細川好弘 書





## 会員増強は百折不撓 みんなで仲間をお誘いしよう。

国際ロータリー第2510地区

2012-13年度ガバナー 細川好弘 (静内RC)

国際ロータリー理事会は2015年6月末までに会員数を130万人にする決議をいたし、本年を初年度として純増3%を掲げました。

初年度の田中作次RI会長は日本の責任として1万人を達成したいと要望されました。

日本のロータリアンとして田中会長を支える気運が高まり、RI会員増強維持委員会を組織し、サクセス・ジャパン作戦(SAKUJI作戦)を推進中ではありますが、その成果が期待されております。

各クラブ公式訪問の際にも「ロータリアンとして相応しい仲間をお誘いし、クラブを強くすることにつなげましょう」とお願いをいたしました。が、会員増強は何回挫折してもあきらめないで素晴らしい仲間をアタックする。このことはポール・ハリスの百折不撓の精神からも学びとれるのでありますが、併せてロータリアンになることの素晴らしさを伝えられるクラブ作りも欠かせない責務であります。

特にロータリーに入会し本当に良かったと思う人に、是非あの人にも入会して欲しいと伝わるような気持ちで、全日本で達成しようとするSAKUJI作戦という新しい試みにご理解とご協力をお願いいたします。

34年前、東京国際大会でのクレム・レヌーフ元RI会長は「私たちは優秀で積極的に参加してくれそうな新会員をクラブに入会させれば、それが会員増強だと思っておりますが、その人たちにやる気を起こさせ、やりがいのあるプログラムに参加する機会を与えなければ、いずれ知らない間にいなくなってしまうでしょう」。又43年前ホノルル国際大会でもジェームス F. コンウェイ元RI会長は「ロータリアンの年齢層は少しずつ高くなってきており、毎年会員が10%ずつ減っています。この減少を補いつつクラブを強化するには、優秀な若手会員を何千人も連れてきて、年齢層のバランスをよくする必要があります」。更に81年前スコットランド、エジンバラでのエベレット W. ヒル元RI会長は「今までロータリーという団体の真の目的を知らずに入会する人が多くいました。ロータリーの知識に乏しい人を会員に迎えたクラブは結果的に弱くなってしまいます」。このように現在ロータリーが直面している課題の核心をついた言葉からも長年の課題であることを物語っております。

私たちが今問うべきことは「ロータリーとは何なのか」ではなく「ロータリーとは誰なのか」であります。

ロータリーの未来を創る五大奉仕と共に、時代に即した原動力となっていていただく、その心が世界に誇れる公共イメージを高め、素晴らしい仲間が集う人生道場で、学び楽しむロータリー物語を構築しましょう。

# 国際ロータリー第2510地区 2013-2014年度 地区協議会報告

国際ロータリー第2510地区

次期地区幹事 **山田 誠**  
(江別RC)

2013-2014年度の地区協議会が、岩見沢ロータリークラブのホストのもと、4月14日(日)午前10時より、岩見沢平安閣と分科会会場の北海道グリーンランドホテルサンプラザの2会場にて開催されました。

2013-2014年度、ロン D.バートン国際ロータリー会長のテーマ「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」を掲げ、安孫子建雄ガバナー・エレクトの行動指針、

- ①大震災復興への支援事業継続
- ②R I 戦略計画・財団未来の夢計画の理解と奉仕事業実践
- ③クラブの運営を点検し会員の参加意欲向上を図り会員の維持増進につなげよう
- ④グループ・クラブ間の交流を盛んにし会員の世界を広めよう

対面での交流を基本とし、情報交換にITを活用しよう

これらの地区目標を達成するため、地区役員、地区内クラブ会長、幹事、五大奉仕部門の委員長などロータリー関係者約550名が出席し討議が展開されました。

午前10時より、岩見沢ロータリークラブ、青木 稔会員の司会のもと、武蔵輝彦ホストRC実行副委員長の開会の言葉、安孫子建雄ガバナー・エレクトの点鐘により開会し、国歌、ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱、山本公彦ホストRC会長の歓迎の言葉に続き、安孫子建雄ガバナー・エレクトから地区役員、次期地区ガバナー補佐等の紹介がありました。

続いて安孫子建雄ガバナー・エレクトの講演に引き続き、丸山淳士次期地区研修リーダー(PG)の講演「これからのロータリー」が行われ、午前の部が終了しました。

昼食後、会場を岩見沢平安閣とホテルサンプラザの2ヶ所に分け、第1分科会(会長部門)、第2分科会(幹事部門)、第3分科会(クラブ奉仕部門)、第4分科会(職業奉仕部門)、第5分科会(国際奉仕部門)、第6分科会(社会奉仕部門)、第7分科会(新世代奉仕部門)の各分科会にて2時間の討議が行われました。

その後、第3分科会から第7分科会、各リーダーによる分科会報告、細川好弘ガバナー所感、安孫子建雄ガバナー・エレクトより謝辞が述べられ、最後にロータリーソング「手に手つないで」を斉唱し、鎌田 誠ホストRC実行副委員長の閉会の言葉のあと、安孫子建雄ガバナー・エレクトの点鐘により閉会しました。





## IM 報告 第9グループ IM終了報告

第2510地区 第9グループ

ガバナー補佐 **飯尾 哲也**  
(室蘭RC)

第9グループは6ロータリークラブ、洞爺湖RC、伊達RC、登別RC、室蘭北RC、室蘭東RC、室蘭RCであります。会員の皆様、来賓の細川好弘ガバナー、遠藤秀雄パスト・ガバナー、講師でご出席いただきました柳 孝一地区新世代奉仕委員長（札幌幌南RC）、各位の参加で2013年3月16日（土）午後3時より、室蘭プリンスホテルでにぎにぎしく開催されました。

開会までの間、茶道裏千家淡交会室蘭支部（ガバナー補佐・室蘭支部長）の各先生方々の抹茶の接待のおもてなしを受け、一服のやすらぎを（和）楽しみました。

この度のIM開催テーマは「新世代の奉仕活動について（未来に向けて）」という内容であり、細川ガバナーが地区目標に掲げられた第1番目の「ロータリーを新世代と共に」という実践の在り方を第9グループの会長・幹事皆様に協議していただき、今後新世代のロータリーとの取り組みと、次世代についての奉仕活動の実践との方向をどのように接点になっていくのか、これらの内容を考えまして柳 孝一氏の講演を聴講して学習致しました。



続いて各ロータリークラブの会長、ローターアクト、インターアクトの皆様によって熱心な奉仕活動の報告がなされ、未来の次世代の方向を歩むことができることが確認され、実りのある活力のあるIMでありました。

また、柳 孝一氏より「青少年が地域社会に積極的に関心を持ち、奉仕を通じてリーダーとして成長する機会を提供するための」、6クラブに共同提唱が提案されました。今後の宿題として受け止めるこ

とを確認致しました。

懇親会では青山 剛室蘭市長も参加し、ロータリアンが楽しみ、友情と懇親を深め、大変意義のあるIMが終了致しました。

6クラブの会長・幹事の皆様、ご協力に感謝申し上げます。ホストクラブの室蘭RCの実行委員の皆様、各関係皆様にお礼と感謝を述べまして報告と致します。





IM  
報告

# 『今、ロータリーに求める 価値観とは何か』を学ぶ

第2510地区 第7グループ

ガバナー補佐 **佐々木 昭**  
(千歳RC)

2013年3月17日(日)千歳市・ANAクラウンプラザホテル千歳において第7グループの「第25回都市連合会」を開催しました。

当日は、来賓として山口幸太郎千歳市長(千歳ロータリークラブ名誉会員)始め、第2510地区から細川好弘ガバナー、安孫子建雄ガバナー・エレクト、基調講演講師の地区カウンセラー塚原房樹パスト・ガバナー、佐藤秀雄パスト・ガバナーに千歳プロバスクラブ会長朝倉範夫様、第7グループ6クラブからの会員等140名のご参加をいただき、開催できましたことに深く感謝とお礼を申し上げます。

IMは一般社会における共通の話題を第7グループ会員全員が一堂に会して考える絶好の機会であると捉え、テーマを「今、ロータリーに求める価値観とは何か」と題して、その道の第一人者であります塚原房樹パスト・ガバナーに講演をお願い致しました。

オープニングに、千歳ロータリークラブの45年間の活動をまとめた「ドキュメント3分59秒」を上映しIMを開始しました。

基調講演は、地区カウンセラーの塚原房樹パスト・ガバナーにロータリーの原点に立ち戻り、真のロータリーとは何かを追求するためのロータリアンの指針となる解説をしていただきました。特に、塚原パスト・ガバナーは、RIの戦略計画は、5つの「中核となる価値観」が示されていることから、「奉仕」「親睦」「多様性」「高潔性」「リーダーシップ」について触れることにより、今、ロータリーが失った「価値観」、すなわちロータリーの精神・魅力を伝えていただきました。

基調講演後の「質問タイム」では参加クラブ代表より熱心かつ多岐にわたる質問があり、塚原パスト・ガバナーから懇切丁寧な回答をいただき、今後のロータリー活動への指針となりました。

続いて、「各クラブPRタイム」では、参加クラブが地域密着活動、国際交流、東日本大震災支援活動など特性を生かした活動実態が報告されました。その中で北広島ロータリークラブ会員が情操教育の一環として“詩吟”を学んでおり、その成果を参加会員全員が壇上において詩吟「宝船」を朗々と吟じ、参加者から盛大な拍手が贈られました。

この度のIMを通じて得た貴重な知識を今後のロータリー運営・活動の一つでも生かしていただけるものと信じております。

学びの後は、参加会員などの相互交流と親睦を深めるために懇親会を開催し、アトラクションに市内小学校ママさんグループの“千舞泉美太鼓”演奏があり大いに楽しみました。最後に、“手に手つないで”で大きな輪をつくり、ロータリーの友情を更に深めることができたIMでありました。



◇質疑応答で問題点について共通の認識



◇クラブPRタイムで北広島ロータリークラブ参加会員による詩吟「宝船」を朗吟(同クラブはロータリーソングに詩吟を取り入れています)

# IM 報告 第4・第5グループ合同IMを終えて

第2510地区 第4グループ

ガバナー補佐 **藤森敏昭** (札幌モーニングRC)

第2510地区 第5グループ

ガバナー補佐 **武部 實** (札幌南RC)

3月23日(土)札幌パークホテルに於いて第4・第5グループ合同IMがホスト札幌モーニングRC、コ・ホスト札幌南RCのもとで「～国境を越える新世代～3・11から感じる命と平和」のテーマで開催されました。参加者は細川ガバナー、安孫子ガバナー・エレクト、羽部ガバナー・ノミニ、8名のパスト・ガバナー、グループ内外ロータリアン、新世代の皆さん、一般市民を含めて約500名と予想をはるかに超えた嬉しい参加数でした。皆様に心から感謝申し上げます。

「基調講演」は国際ロータリー世界平和フェローで、米国の女性フォトジャーナリスト、アリソンクウェッセル氏で世界の紛争や貧困、ポリオの現実を伝えてきていましたが、2011年10月より福島原発から50キロ程離れた福島県新地町に入り取材をしています。新地町の人達にはお互いに支え合い助け合って心の傷を癒していくことができ、何物にも負けない勇気としなやかな強さをもって、生きることの素晴らしさ(美しさ)をここで学びました。他の国では感じなかったこの特別なものを世界の人に伝えたいと話していました。



「特別報告」は現在アフリカのモザンビークで農業技術指導に当たっている札幌出身の元国際親善奨学生、鳴海ゆきの氏からインターネットで「私達の地道な活動が将来のモザンビークに少しでも役に立つように、また私達と共に過ごすことで少しでも日本という国を身近に感じてもらいたいと思って仕事をしています。」と報告を頂きました。



「新世代シンポジウム」は司会に前北海道教育大学学長村山紀昭先生、シンポジストはROTEXの米国セニア・ネムソフさん、韓国の金昌震さん、中国の廉哲さん、日本の中脇まりやさん、元米山奨学生、台湾の林素鳳さんの5人で3・11で感じた命と平和について話し合いました。生命に対する感謝と畏敬の気持ちを持つこと、人と人との出会い、国や人種を越えて思いやりを持って交流していけば平和に繋がるなどの発言もありました。又インターアクトの研修旅行で被災地を訪問した2人の高校生や福島県飯舘村の代々続いている酪農家の人からの貴重なフロア発言

もありました。村山先生がまとめとして「3・11を忘れずに、人種や国境を越えて命の尊さを思い、平和な世界のために美しく善く生きていこう。声高に名を求めでではなく、一つでもできることをやろう。」

その後「懇親会」に入り、ロータリアン、インターアクト、ローターアクト、交換留学生、ROTEX、財団学友、米山学友など世代を超え国境を越えて交流を楽しみました。次年度ガバナー補佐、第4グループ玉造啓子会員(札幌はまなすRC)、第5グループ小田切房之会員(札幌東RC)のご紹介の後閉会しました。参加者それぞれが前に向かって踏み出す可能性を感じさせるIMだったと思います。翌日の北海道新聞朝刊に写真入りで取り上げられました。ありがとうございました。(藤森敏昭記)



# 東日本大震災復興補助金プロジェクト報告(その1)

地区大震災救援奉仕プロジェクト委員会

委員長代行 **堀江和美** (砂川RC)

2012-2013細川年度においては、『クラブ・グループからの支援事業提案に基づき、地区版補助金(地区支援金利用)、マッチング・グラント(MG)等を利用し支援を行う。』ことを事業方針とし活動しており、7つのプロジェクトが承認されていることを、ガバナー月信2013年1月号に報告させていただきました。

その7つのプロジェクトの内、①南相馬の少年サッカー大会招待支援事業(岩見沢東RC)、②福島キッズI N さっぽろ雪まつり(札幌北RC)、③絆をより深めるための被災町内会集会施設への備品支援事業(恵庭RC)、④山田町厳寒期漁業雨合羽支援プロジェクト(小樽RC)について、各クラブからの「事業終了報告書」から抜粋して紹介させていただきます。

## ①南相馬の少年サッカー大会招待支援事業(実施クラブ:岩見沢東RC)

**共同実施地区** R I第2530地区(福島)

### 事業主旨

福島県南相馬では福島第一原発事故の影響で、団員が減少し、外で練習する事が大変厳しい中、積極的に活動を継続している南相馬の少年サッカー団を招待し、地元の少年との交流試合を通して、福島第一原発及び3.11の津波被害からの復興に向けて取り組んでいる南相馬の方々に、心の支援を送りたいと計画されたプロジェクト。

**実施期間** 平成24年9月28日(金)~9月30日(土)

### 事業概略

招待チームの南相馬FC、相馬FCスポーツ少年団の方々は、平成24年9月28日(金)に仙台空港を飛び立ち、宿泊先である「太古の湯」(岩見沢市)に全員(子供22人、大人8名)が到着しました。

9月29日(土)、30日(土)には、地元の北村サッカースポーツ少年団、岩見沢ジュニアFC1985、東FC、栗沢SCと交流試合が行われました。生憎の雨でしたが、全ての試合が熱戦となりました。



招待チームと集合写真



交流試合

豪雨の中で行われたサッカー大会の開会式や岩見沢の少年少女たちとの交流会には、細川ガバナー、安孫子ガバナー・エレクト、増山第3グループガバナー補佐、出村地区大震災救援奉仕プロジェクト委員やR I第2530地区の佐原パスト・ガバナー、安藤地区新世代委員長が参加、子供達との温かい交流ができました。



**事業を通しての想い**

福島から来た子供達のサッカーをしている時の生き生きとした顔、思いっきり走り回っていた姿は誰の心にも残るものでした。交流会においても、岩見沢の子供達と談笑し、ジンギスカンをほおぼり、歓声を上げていた姿はとても印象的でした。

子供達に帰ってから作文を書いて送ってもらいましたが、どの作文を読んでも、一時ですが、北海道に来てサッカーをした経験が子供達の心に強く残り未来の希望へと繋がったのは言うまでもありません。

私たち岩見沢東ロータリークラブの会員一同、今回の事業を行って本当に良かったと感じ、この事業を支援して下さった細川ガバナー、地区大震災救援奉仕プロジェクト委員会の皆様に感謝をし、心からお礼を申し上げます。又第2530地区の佐原パスト・ガバナー、安藤新世代委員長にも心から敬意を表し感謝をいたしたいと思えます。

本当にロータリーは素晴らしいと感じ、自分がそのロータリーの一員である事に誇りを持ってた事業でした、ありがとうございました。(岩見沢東RC幹事 長田正文)

**事業費** 総額：2,747,000円(岩見沢東RC：400,000円、R I 第2510地区震災支援金：1,800,000円、岩見沢市東日本大震災復興支援金：500,000円、その他：47,000円)

**②福島キッズ IN さっぽろ雪まつり (実施クラブ：札幌北RC)**

**共同実施地区** R I 第2530地区 (福島)

**事業主旨**

震災の影響で未だ厳しい環境の中の子供達に思い切り北海道の冬遊びを満喫してもらい、少しでも子供らしく伸び伸びと生活していけるように支援していきたい。また、今後もこれを機に心の支援を送り続けたいと計画されたプロジェクト

**実施期間** 平成25年2月1日(金)～2月3日(日)

**事業概略**

今回のこの企画は、第2510地区、第2530地区、札幌北ロータリークラブの協同にて、「第2510地区版復興支援補助金」1,296,500円を利用させて頂き、また第2530地区版復興支援補助金も利用させて頂き、福島県川内村へ帰村した児童、生徒、保護者、教育委員会から29人が参加し、冬の北海道で色々な初めての冬の体験をしました。さっぽろ雪まつりでは、札幌大通公園の雪まつり会場で、スノーキャンドル作りを体験。それぞれの思いを託し絵付けを行い、雪まつり開催初日に点灯され、会場を訪れた人々を魅了していました。「サッポロさとらんど」では地元の子どもたちとの雪中運動会を開催し、雪の中を思い切り走り、バナナボートなど、冬のアクティビティーを楽しみました。その夜には、ウエルカムパーティーを開催、ロータリアンも大勢集まり盛大に行われました。おいしい料理と楽しいゲーム、その後は川内村の皆さん全員から一人一言ずつメッセージが述べられました。「川内村をみんなでまた作っていくんだ」との熱い思いに全員心を打たれました。

(札幌北RC奉仕プロジェクト委員長 佐々木 仕)



集合写真



雪中運動会

**事業を通しての想い**

震災から2年余りが経った今、支援事業のあり方も変化してきています。今回の事業では川内村の皆さんの生の声、今の思いをお聞きでき、支援の力を風化させず、多くの皆さんにメッセージを伝えながら、ロータリアンの仲間の皆さんとともに支援のお手伝いをしていくことが大切であり、大きな力になることを強く実感しました。真冬の北海道は本当に寒いですが、とてもとても温かい気持ちになりました。

(札幌北RC奉仕プロジェクト委員長 佐々木 仕)

**事業費** 総額：2,847,908円(札幌北RC：151,408円、R I 第2510地区震災支援金：1,296,500円、R I 第2530地区：1,400,000円)

**③絆をより深めるための被災町内会集会施設への備品支援事業（実施クラブ：恵庭RC）**

**共同実施クラブ** R I 第2520地区（岩手）の名取RC、上山RC

**主旨**

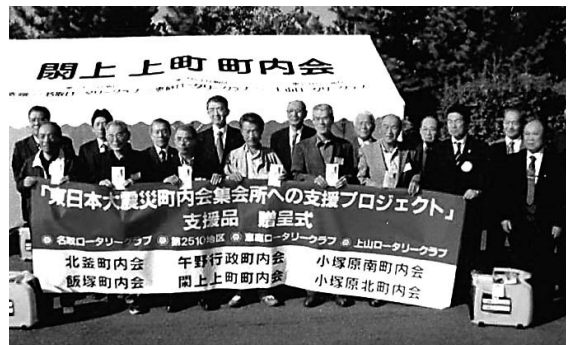
震災から時間が経ち、生活のリズムを少しずつ取り戻すにあたって、町内会集会所は以前に増して大切な場所となりました。ところが、集会場は、被災して修繕を重ねて復興した集会所と、津波により完全に流されてしまったため、仮設住宅の仮設集会所を使用する2つに分かれており、備品等の不足から、集会場の機能が発揮されていません。このため、テントや発電機等の備品を、名取RCと協力して、寄贈し、被災者の心に少しでも安らぎを与えたいとして計画されたプロジェクト。

**贈呈式** 平成24年11月1日（木）

**概要**

平成24年11月1日（木）、名取RC例会場において、恵庭RC（宮内会長以下9名）、名取RC及び上山RC（名取RCの友好クラブ）の合同で被災市内6町内会への贈呈式が行われました。

贈呈式後には、6町内会を訪問し、既に贈呈済みの物置等の見学や、町内会の方々との交流をしました。



寄贈テントの前で集合写真



寄贈倉庫



寄贈発電機

**事業を通しての想い**

被災地の現況を見学し、話に聞いていた事との大きなギャップに只々驚き、この様な支援を今後とも続けなければとの想いになりました。集会場の皆様方が「火の消えた街に、心に、明るさを」との想いで造られたローソクを購入し、地元の方々の前向きに前進される姿を拝見し救われました。

(恵庭RC震災支援委員長 大川健一)

**事業費** 総額：1,000,000円（恵庭RC：100,000円、R I 第2510地区震災支援金：900,000円）

## ④山田町厳寒期漁業雨合羽支援プロジェクト（実施クラブ：小樽RC）

共同実施クラブ 山田RC、東京山の手RC、盛岡RC

## 事業主旨

山田町はカキ養殖が盛んな漁業中心の町でしたが、震災により中心部の80%以上がガレキと化しました。現在、漁業は多少なりとも復興のめどがたってきてはいるものの、依然として厳しい状況にあり、基幹産業である漁業の復活が町そのものの復興につながるものとして、現地、山田ロータリークラブと連携を取って支援のあり方を検討した結果、これから迎える寒い時期における漁業作業で必要かつ資金面から工面出来ていない厳寒期漁業雨合羽を小樽RC、山田RC、東京山の手RC、盛岡RCとの合同で寄贈し、震災復興に寄与したいと計画されたプロジェクト。

贈呈式 平成24年12月9日（土）

## 贈呈式概要

平成24年12月8日（土）に、小樽RC笠間会長、熊澤パスト・ガバナーを始め、総勢10名の会員で岩手県山田町へ向かい、山田町役場において、山田町復興推進課の中屋課長補佐から被災状況等についての説明を受けた後、実際に町内の現場を視察しました。

夕方より、小樽RC、山田RC、東京山の手RC、盛岡RCの合同例会を開催し、交流を深めました。

9日（日）に、山田町織笠で開催された「山田の鮭大漁祈願まつり」の会場において、水産作業用合羽の贈呈式が行われ、三陸やまだ漁業協同組合から感謝をしていただきました。



贈呈式集合写真



寄贈雨合羽

## 事業を通しての想い

贈呈式の際に、山田町役場において、学校教育関係の被災状況・現況等教育関係の被災状況・現況等の説明を受け、山田町の学校施設の中で唯一被災した「船越小学校」に対して、1) 卒業式で使用する紅白幕、2) 体育・課外授業で使う一輪車15台を小樽RCの独自の支援事業として行うことになりました。

事業費 総額：2,329,175円（小樽RC：329,175円、R I第2510地区震災支援金：2,000,000円）

以上、4つの完了プロジェクトについて報告させていただきました。現在進行中の3つのプロジェクトについては後日、報告させていただく予定です。

最後になりますが、各クラブにおかれましては、支援事業実行にあたり、関係者との密なる打ち合わせ、各クラブ内での新たな支援金の募金活動、贈呈式等を通じた支援先との友情を深めるための多大なご努力をいただいたことに心から御礼申し上げます。

# 特別支援学校支援プロジェクト事業報告

R I第2510地区 第3グループ  
東日本大震災福島訪問支援委員会

委員長 **西方洋昭** (岩見沢RC)

去る、2013年4月19日(金)～4月20日(土)の2日間、R I第2510地区第3グループ東日本大震災福島訪問支援委員会として福島県立富岡養護学校と福島県立須賀川養護学校への支援として訪問して参りましたので報告いたします。

私ども第3グループでは、福島県の子ども達の為に甲状腺医療機器の贈呈を決定し、既に手配をしていたところでありますが、更なる支援をとの強い思いを、増山ガバナー補佐を中心とした第3グループ内8クラブ(江別西RC、江別RC、当別RC、岩見沢RC、岩見沢東RC、栗沢RC、栗山RC、美唄RC)の有志が集まり、昨年12月より福島県の被災した養護学校への訪問支援を模索、検討しておりました。



今年3月に入りR I第2510地区、大震災救援奉仕プロジェクト委員の出村知佳子さん(札幌北RC)、R I第2530地区、新世代委員長の安藤元二さん(郡山西RC)の御尽力により、福島県立富岡養護学校と福島県立須賀川養護学校へ訪問し支援物資を手渡す事ができました。

4月19日、総勢10名のプロジェクトメンバーは朝8時35分の飛行機に乗り込み、一路福島へ。まず向かったのは福島県いわき市の富岡養護学校。富岡養護学校は福島原発事故により、放射線量が高い避難地域の為、いわき市に非難を強いられた養護学校で、現在も仮設校舎での授業を行い、学校備品等も不十分なままの状態でしたので、学校として必要としている本棚やロッカー、更には食べても害のないクレヨンなど数点を寄贈いたしました。更に心身共に疲労している先生方への激励品として、第3グループそれぞれの町の特産、名産品を箱に詰め込み先生方への慰労の気持ちを込めて手渡す事ができました。

翌4月20日には、福島県須賀川市にある須賀川養護学校、ここは震災により甚大な被害を受け仮設校舎で授業を行っていましたが、やっと復旧の終わった本校舎での授業が再開したものの、まだまだグラウンド等は十分に使用できない状態の為、サッカーゴールネットなど必要備品とクレヨンなど日用品を寄贈いたしました。それぞれの養護学校では、校長先生始め先生方や父兄、そして生徒達に大変喜ばれ、温かな御礼の言葉をいただいた事で、この訪問支援プロジェクトに強い思い入れのある増山ガバナー補佐も感無量の喜びでした。

今回のプロジェクトは、金曜日の早朝に出発し、土曜日の昼には戻ってくるという大変強硬スケジュールの訪問でした。しかし、現地に行ってみなければ解らない被災地の現状を目の当たりにする事ができました。1日目、帰還困難区域である富岡町をバスの中から見て回る事ができましたが、その光景は近未来SF映画に出てくるような、一夜にして町中から誰一人いなくなり廃墟となった正にその光景で、まるで時間が止まったかのような町で信号機だけが点滅しているという背筋が寒くなるような異様な光景でした。

テレビ等の報道では、あまり取り上げられなくなった為、そのような廃墟となった町が福島原発周辺にはいくつもあるという事実。同じ日本の中に、そのような光景があるという事実を私たちはあまりにも知らなすぎるという事。そして、事故から2年経った事で、どんどん風化していると言う事。津波や地震の被害を受けた建物や道路などは着実に再建に向かっているというのに、原発事故、放射性物質汚染に関しては、全くと言っていいほど進んでいないという事を改めて再認識をした訪問支援となりました。

私たちはロータリアンとして、同じ日本に住む日本人として今後も、様々な形で支援を続けて行かなければならないと感じました。また、この度の訪問の機会を与えていただいた多くの関係各位に感謝いたしまして事業の報告とさせていただきます。

私たちはロータリアンとして、同じ日本に住む日本人として今後も、様々な形で支援を続けて行かなければならないと感じました。また、この度の訪問の機会を与えていただいた多くの関係各位に感謝いたしまして事業の報告とさせていただきます。

# いわき海星高校支援事業～その後

地区大震災救援奉仕プロジェクト委員会

委員 出村 知佳子  
(札幌北RC)

去る4月19日(金)～20日(土)と第3グループの特別支援学校支援の訪問事業に同行させて頂きました際に、昨年度支援の「いわき海星高校」に立ち寄りさせて頂きましたので、現況報告をさせていただきます。

いわき海星高校は、津波の大被害に遭い、半壊状態で、お邪魔した際にはガラスは全てなくなり、校舎や体育館は津波による砂の山に埋もれているような状態でした。そこで、当地区と第2530地区(福島)イギリスのロータリー財団等共同で、約2,000万円の予算にて復旧工事を行い、生徒さん達が学校に戻って来ることができました。当地区では義援金から400万円をこちらの事業に充てさせて頂いております。

さて、今回の学校の様子は・・・本当に見違えるほど綺麗になりびっくり致しました。昨年お邪魔した際のガラスは割れ、砂の山の中に埋もれていた様な状態とは、全く変化していました。校長先生からお話の中で、ロータリーの支援に深く感謝されていました。

それは、全く学校復旧の予定が立たなく途方に暮れている中で、初めてロータリーの校舎復旧工事が決定、実施され、その後行政の支援が始まり、甲子園21世紀枠も決まったそうです。「北海道」には足を向けて寝られないのに、なんと「遠軽高校」との対決という事でしたが、部員数少ない中健闘し、全国の皆さんに勇気を与えてくれました。と健闘の様子を喜んでいらっしゃいました。本来学校復旧工事等はロータリーの支援事業になる事はあまりないですが、未曾有の災害下という事でロータリーの支援が一番に実施されました。それがきっかけで周りがどんどん動き始めていかれたという事で、規模以上の事業の大きな効果を感じました。また、校舎内には亡くなられた生徒さんの供養のためにと生徒さんが奏でる「じょんがら節」の音がとても綺麗に響いていました。

このようにいわき海星高校は復興の道を進んでおり、大変嬉しく思いました。改めまして、地区内各クラブの皆様のご理解、ご協力を本当にありがとうございました。

しかしながらその反面、いわきの行く道中の町は、取り残されたように町並みだけはそのまま、人影のない町が沢山ありました。これから益々支援は必要になっていく事と強く感じ、私たちにできる支援のお手伝いは何かを、今後も皆さんで考えていく事がとても大切であると感じた訪問となりました。



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

◆米山功労者

江別西RC 石黒 良平 会員(5回) 3月27日  
 札幌南RC 列行シフト-批 会員(12回) 3月11日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

◆メジャードナー

札幌南RC 羽部 大仁 会員(ババ) 3月

◆マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

砂川RC 小泉 洵 会員(7回) 3月

◆ポール・ハリス・フェロー

小樽銭函RC 松倉 正広 会員 3月  
 小樽銭函RC 上村百合子 会員 3月  
 小樽銭函RC 櫻場 義春 会員 3月

新会員の紹介 (敬称略)



札幌真駒内RC  
**土谷 俊彦**  
 2月13日入会  
 建築設計



小樽南RC  
**浅村 公二**  
 3月1日入会  
 ビル管理



小樽南RC  
**湊 亨**  
 3月15日入会  
 特殊清掃



浦河RC  
**伊原 尚郎**  
 4月2日入会  
 幼稚園



(307号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の「ロータリー情報」より(2)

◎「奉仕の理想と二つの標語」	安孫子貞夫	2013	2p (D.2800月信)
◎「Awarenessは対内が基本」	大之木精二	2013	1p (D.2710月信)
◎「R Iの戦略計画は何処までクラブを活性化できるか」	坂本 俊雄・服部 芳樹・井上 暎夫	2013	7p (D.2720月信)
◎「ロータリーの奉仕と平和」	朴 柱寅	2012	9p (D.2790地区大会記念誌)
◎「Eクラブの設立・現状と課題」	杉田 博	2012	10p (D.2710地区大会特集号)
◎「ロータリーを实践してみんなに豊かな人生を」	〇ND.バートン	2013	4p (2013年国際協議会講演集)
◎「新世代」	田中 作次	2013	3p (2013年国際協議会講演集)
◎「ロータリーソング誕生秘話」	岡村 健	2012	6p (福岡南RC月報)

[上記申込先: ロータリー文庫]

◎「DVD/田中作次物語」	2012	(D.2770)
---------------	------	----------

[申込先: D.2770 FAX(048)827-0011]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506  
 開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

## ■ クラブFAX番号の変更について

室蘭北RCのFAX番号について、下記の通り変更となりましたのでお知らせ致します。  
宜しく願い申し上げます。

旧：0143-45-6569 ⇒ 新：0143-50-6578

## 地区カレンダー (5月・6月)

5 月		6月 ロータリー親睦活動月間	
1 (水)		1 (土)	
2 (木)		2 (日)	
3 (金)	憲法記念日	3 (月)	
4 (土)	みどりの日	4 (火)	
5 (日)	こどもの日	5 (水)	
6 (月)	振替休日	6 (木)	
7 (火)		7 (金)	
8 (水)		8 (土)	
9 (木)		9 (日)	
10 (金)		10 (月)	
11 (土)	第2グループIM (滝川)	11 (火)	
12 (日)	美唄RC創立40周年記念式典 (美唄)	12 (水)	
13 (月)		13 (木)	
14 (火)		14 (金)	
15 (水)		15 (土)	新旧地区委員長・ガバナー補佐合同引継ぎ会議 (札幌)
16 (木)		16 (日)	
17 (金)	~18 (土) ロータリー世界平和会議 (広島)	17 (月)	第23回日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会 (恵庭)
18 (土)		18 (火)	
19 (日)	第18回国際ロータリー日本青少年交換研究会 (広島)	19 (水)	
20 (月)		20 (木)	
21 (火)		21 (金)	札幌モーニングRC創立25周年記念式典 (札幌)
22 (水)		22 (土)	~23 (日) インターアクト年次大会 (札幌)
23 (木)		23 (日)	~26 (水) 国際大会 (リスボン・ポルトガル)
24 (金)		24 (月)	
25 (土)	岩見沢東RC創立30周年記念式典 (岩見沢)	25 (火)	
26 (日)	第1グループIM (留萌)	26 (水)	
27 (月)		27 (木)	
28 (火)		28 (金)	
29 (水)		29 (土)	ローターアクト年次大会 (札幌)
30 (木)		30 (日)	2012-2013年度終了
31 (金)			

2013年5月のロータリーレート 1ドル98円

## 出席率・会員数

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2012.7.1	2013.3.31	増 減	内女性	
1	深 川	3	37	36	-1	2	87.00
	羽 幌	4	46	48	2	2	72.82
	妹 背 牛	3	10	12	2	0	91.66
	留 萌	3	43	42	-1	3	86.48
	小 計		136	138	2	7	84.49
2	赤 平	4	28	32	4	0	83.90
	芦 別	4	37	38	1	2	76.43
	砂 川	3	47	47	0	0	92.03
	滝 川	4	84	86	2	2	75.00
	小 計		196	203	7	4	81.84
3	美 唄	4	33	31	-2	0	82.87
	江 別	3	34	36	2	1	80.55
	江 別 西	4	26	25	-1	3	100.00
	岩 見 沢	4	80	81	1	0	90.19
	岩 見 沢 東	3	21	22	1	2	84.56
	栗 沢	3	23	23	0	1	97.00
	栗 山	4	23	24	1	3	93.75
	当 別	4	27	28	1	1	86.61
	小 計		267	270	3	11	89.44
4	札 幌	2	110	114	4	0	99.58
	札幌あけぼの	5	15	15	0	2	100.00
	札幌はまなす	4	17	15	-2	3	86.67
	札 幌 北	4	32	36	4	5	88.97
	札幌モーニング	3	44	49	5	0	79.54
	札 幌 西	3	47	50	3	6	90.07
	札 幌 西 北	4	33	33	0	3	83.20
	札 幌 手 稻	5	31	33	2	3	88.30
	小 計		329	345	16	22	89.54
5	札 幌 東	4	121	126	5	0	98.94
	札 幌 清 田	3	20	20	0	6	100.00
	札 幌 幌 南	5	50	51	1	0	100.00
	札幌真駒内	3	23	21	-2	3	100.00
	札 幌 南	4	80	80	0	0	99.39
	札幌大通公園	4	12	15	3	1	56.66
	札幌セントラル	4	7	7	0	3	75.00
	新 札 幌	3	27	25	-2	3	70.58
	小 計		340	345	5	16	87.57
6	岩 内	4	21	21	0	0	81.25
	倶 知 安	3	36	39	3	6	69.00
	小 樽	3	70	69	-1	0	91.00
	小 樽 南	4	71	71	0	2	91.74
	小 樽 銭 函	3	20	21	1	2	75.00
	蘭 越	4	10	11	1	0	93.50
	余 市	3	43	41	-2	4	84.70
	小 計		271	273	2	14	83.74

3月出席率・  
会員増減数

クラブ数	72クラブ
期首会員数	2,560人
当月末会員数(女性)	2,620人(117人)
増加会員数	60人
当月平均出席率	84.94%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数				出席率
			2012.7.1	2013.3.31	増 減	内女性	
7	千 歳	4	49	52	3	3	90.63
	千歳セントラル	4	33	36	3	3	78.33
	恵 庭	3	42	42	0	3	95.50
	北 広 島	5	16	17	1	0	84.71
	長 沼	4	19	20	1	3	83.75
	由 仁	4	9	7	-2	0	81.25
	小 計		168	174	6	12	85.70
8	え り も	4	26	24	-2	1	91.67
	三 石	4	15	15	0	2	70.00
	様 似	4	24	24	0	1	82.30
	静 内	3	72	71	-1	0	70.29
	浦 河	4	34	31	-3	1	79.41
	小 計		171	165	-6	5	78.73
	9	伊 達	4	54	53	-1	0
室 蘭		4	40	40	0	0	98.07
室 蘭 東		3	38	38	0	0	75.70
室 蘭 北		3	33	34	1	2	78.05
登 別		3	31	31	0	1	83.87
洞 爺 湖		4	9	9	0	0	100.00
小 計			205	205	0	3	85.82
10	函 館	4	79	83	4	0	78.75
	函 館 亀 田	3	39	39	0	4	87.06
	森	3	42	43	1	0	78.00
	七 飯	4	15	17	2	0	73.50
	長 万 部	4	8	9	1	0	86.00
	函館セントラル	4	28	26	-2	2	66.34
	小 計		211	217	6	6	78.28
11	江 差	4	10	12	2	1	90.00
	函館五稜郭	4	39	48	9	0	90.11
	函 館 東	4	43	47	4	6	78.68
	函 館 北	3	25	23	-2	0	87.50
	北 斗	4	15	15	0	0	55.00
	松 前	3	3	4	1	0	100.00
	小 計		135	149	14	7	83.55
12	白 老	3	28	31	3	1	73.30
	苫 小 牧	4	47	52	5	2	84.53
	苫 小 牧 東	4	28	25	-3	4	85.00
	苫 小 牧 北	4	28	28	0	3	95.19
	小 計		131	136	5	10	84.51
合 計		2,560	2,620	60	117	84.94	